

SDGs と JA あおば

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	

SDGs とは？

Sustainable Development Goals

持続可能な

開発

目標

最近、テレビや新聞で目にする「SDGs」とは、「持続可能な開発目標」のことで、「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、2015年に国際連合で定められました。貧困や飢餓、気候変動などについて考え、私たちの子や孫、さらにはその先の世代までが人間らしく豊かに暮らしていける世界をつくるために、2030年までに達成すべき世界共通の17の目標です。



JAあおば公式LINE

JA あおばの直売所「みのり館」「ほほえみ館」のお得な情報や、イベント情報を配信中！



ID検索: @574wpspc

QRコードスキャン→



J AとSDGs

J Aあおばの取組み



SDGs× 笑味ちゃん

JAグループとしても、SDGsに力を入れていることを示すため、SDGs×笑味ちゃんマークが作られました。SDGsのカラーホイールと同じ17色の服を着ています。

01 SDGsが 目指すものは？

17の目標と169の具体的なターゲットが定められているSDGsは、地球の「環境」を守りながら全ての人が尊厳を持って生きられる「社会」と、誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことのできる「経済」の実現を目指しており、①環境、②社会、③経済の大きく3つに分類されています。

特に、目標17の「パートナーシップ」は、目標を実現するために個人、団体、企業、自治体などあらゆる段階でパートナーシップを結び、強気に動くことが必要なため、欠かせないものです。

02 J AとSDGs の関係は？

SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」は、JAの精神「一人は万人のために、万人は一人のために」という行動理念と非常に近い考えです。JAがこれまで地域社会で取り組んできたこと自体がSDGsそのものなのです。これらを「見える化」し、さらにSDGsを意識した取り組みを行うことで、JAの存在意義を磨き直すことに繋がります。また、JAあおばの経営理念である「組合員とともに、食と農を通して地域の中で発展し続けるJAをめざします」は、「持続可能な開発目標」であるSDGsと相通ずるものがあります。

誰が
取り組むの？

SDGsは、個人や家族、仲間やグループで気を付けることから、地球規模の課題まで、地球に暮らす全員が共通して取り組む目標です。

J Aあおばは、組合員や組織、地域住民と一体となり、農業や暮らしに関わる様々な活動に取り組んでいます。わたしたち自身が SDGs の強力な推進者となるよう地域の課題や問題に積極的に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



JAあおばの活動とSDGs

～JAあおばがすでに取り組んでいる活動の多くがSDGsにつながっています。ここでは活動の一部を紹介します～



スマート農業の 推進で生産者支援



JAあおば管内では多くの女性農業者が活躍しています。更なる女性農業者の活躍、新規就農者の参入を目指し、スマート農業を推進し、農作業の効率化や作業負担の軽減を図ります。

イベントを通じて 地域交流



各支店にふれあい委員会を設置し、ふれあいイベントを行っています。また JA 共済によるベビーマッサージ教室などを通じて、交流の場を作り地域交流の場を提供しています。

直売所の 活性化を通して 地産地消の推進



地元の新鮮な農畜産物と消費者を結び直売所を拠点に、地域農業を盛り上げ、地産地消を進めています。

あおばの里 ほほえみ館

〒939-2603 富山市婦中町羽根940-1
TEL:076-469-0023
営業時間:9時～18時(年中無休・正月除く)
11月～2月中は17時まで

あおばの里 みのり館

〒939-2252 富山市上大久保1359-2
TEL:076-467-2322
営業時間:9時～18時(年中無休・正月除く)
11月～2月中は17時まで

新鮮な農産物が
たくさんあるよ!



お得情報
1

毎週水曜日は
JAポイントが2倍!



お得情報
2

8のつく日と土日祝は
「あおば舞」がお得!

お得情報
3

毎週木曜日は
ソフトクリーム50円引き!

増加する世界の人口

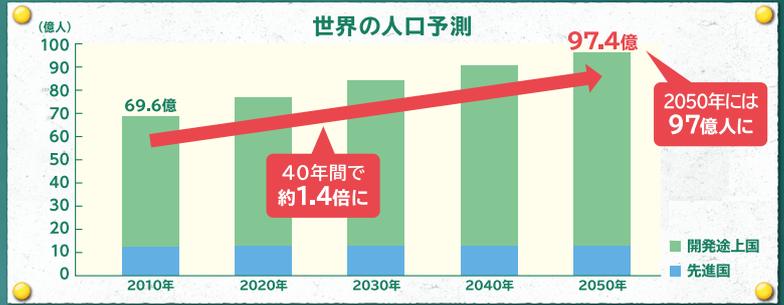
将来にわたって食料の安定確保のために

なぜ今?
国消国産

世界では人口が増え続けている

今世界には、約78億人*が生活していますが、この人口はさらに増え続け、2050年には97億人まで増加する見通しです。2010年からの40年間で、世界の人口は約1.4倍にもなるということです。人口の増加が予測される地域の大部分はアフリカとアジアの開発途上国です。飢餓問題が解決していない地域で、これ以上人口が増加すると、食料不足や栄養不足がさらに進んでしまうことが危惧されます。

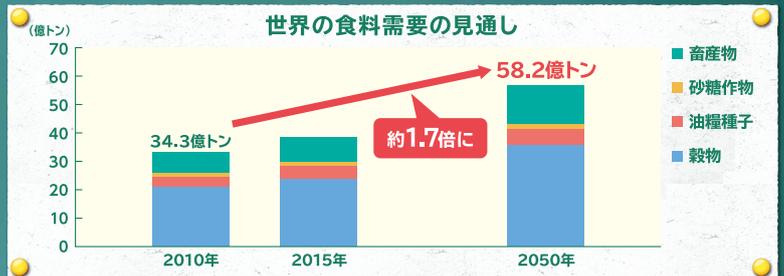
*国連人口基金「世界人口白書2020」より



出典：農林水産省 「知ってる？日本の食料事情 2020～食料自給率・食料自給力と食料安全保障」

人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点でリスク増大

2010年から2050年までの40年間で、世界が必要とする食料は、約1.7倍に増加すると予測されています。これまで、品種改良や化学肥料の普及、農業の機械化などによって、主に単収を伸ばすことで農業生産の増加を可能としてきました。今後、世界は食料の増産、食料供給の観点で大きなリスクを抱えています。



出典：農林水産省

だから今!
国消国産

「国消国産」で、世界の食料供給に安定を

日本が国内生産を増やさずに、食料を海外に依存し続けたらどうなるか。安易に途上国から輸入をすることで、その国の食料を奪う可能性はないのか。一方で、日本は将来にわたって、海外から食料を輸入し続けられるのか。世界の食料の安定確保のために、私たちができること。それは、「国民が必要とし」「消費する食料は、できるだけその「国」で生産する」という「国消国産」をみんなですすめ、まずは自国の食料自給率を向上させていくことが何より大切です。

- 1 世界の人口は開発途上国を中心に増加
- 2 人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点で大きなリスク
- 3 「国消国産」で、世界の食料の安定確保に貢献を

JAグループサポーター・林修

ここがポイント!

